

学校再編



鈴木秀尚議員が町に問う！

新しい学校に英語ルームを

答弁 再編を進める中で検討します

Q 英語ができる大人がいて、学習した英語を試したりおしゃべりしたりできれば、英会話能力が向上すると考えられる。英会話の機会を増やすために「英語ルーム」の設置ができないか。

A 学校教育課長 国際共通語である英語力の取得は不可欠です。学校再編を進める中で、ALT（外国人指導助手）の活用も検討します。

●その他の質問
シニアの活躍
太陽光発電設備
弾道ミサイルを想定した避難訓練

Q 温かいご飯の提供と災害時の炊き出しにも活用できるようにする。新しい給食センターに、炊飯施設を考慮できないか。



3つの中学校が1つになる小川中学校

A 学校教育課長 令和7・8年度に給食センター建設整備検討委員会を立ち上げ、基本計画を立てる中で検討します。

公共施設



田端良成議員が町に問う！

廃止費用を含めた計画は

答弁 廃止を決めるには時間が必要です

Q 具体的にどの公共施設を更新・廃止するかを決め、必要な費用を算出する段階ではないか。

Q この公共施設整備基金に目標金額を掲げて活用してはどうか。

A 政策推進課長 財政運営を考えれば計画的な公共施設の廃止・更新などの費用算出は有効です。しかし、廃止・更新などの決定には検討する事項が多くあり、一定の時間が必要です。再編が決定している学校施設や学校給食センター等を中心に進めていきます。

A 政策推進課長 公共施設等総合管理計画において、延べ床面積を30年間で58%削減する目標があります。町全体の施設を全てそのまま更新することは財政上できません。公共施設整備基金を活用し、今後の施設整備への備えをしていきます。



解体予定の町民会館ホール棟

おがわ学



稲村 瑠 議員が町に問う！

ゲストティーチャーの継続は

答弁 今後も継続したいと考えています

Q 昨年の秋に当町が推進している「おがわ学」の取組で、ゲストティーチャーとして町内の中学校へ赴いた。「町の活性化」について真剣に向き合う生徒の皆さんの姿に感動した。このような素晴らしい取組の継続は。

Q 新たな空き家対策として、借りる側への補助ではなく、大家さんへの補助または貸付けを行うことは。

A 都市政策課長 大家さんへの補助・貸付けには様々な課題があり、現状は考えていませんが、引き続き研究を進めていきます。

A 学校教育課長 町内の小中学校の「総合的な学習の時間」において「おがわ学」としてゲストティーチャーをお招きすることは、今後も継続したいと考えています。「おがわ学」は、町内の小中学生が、地域への愛着や誇りを育み、地域課題を解決する能力を体系的に学ぶ学習です。地域の皆さんと協働し、当町の課題解決に取り組める力を身につけられるよう研究していきます。



空き家対策の要「移住サポートセンター」

森林環境税



島崎隆夫議員が町に問う！

森林管理計画の進捗は

答弁 意向調査は5年間で47%に到達しています

Q 森林管理計画は、順調に進んでいるか。

Q 里山整備に関する考えは。

A 環境農林課長 意向調査が47%、現況調査が34%となっており、埼玉県中央部森林組合と連携しながら進めています。

A 環境農林課長 人工林の利活用を進めつつ、町の財産である里山の整備手法を考えていきます。

A 環境農林課長 事業目的の達成には、様々な企業や団体の参加に対する考えは。



山の整備状況

風呂の時間。リセット！と叫び疲れを吹き飛ばします。(K・Mさん 47歳)

食べることです。おいしい料理を食べている時の幸福感は、最高ですね！(Y・Sさん 40歳)

家族と過ごす時間ですかね。お金では決して買えない幸せがそこにありますね。(Y・Yさん 50歳)

小川町の探検にはまっています。里山歩きもいいですし、歴史をたどるのも面白いです。(K・Tさん 51歳)

家族の笑顔ですね。辛い時など、家族の笑顔があれば、力が湧いて頑張れます！(N・Sさん 40歳)

小川町議会だよりは

写真にコダワル！

写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション(写真説明)も工夫します。